

定例市長記者会見録

日 時：8月27日(水) 午後1時30分～1時50分

場 所：本庁舎6階 特別会議室

出席者：一宮市 中野市長、福井副市長、山田副市長

報道機関 中日新聞、読売新聞、時事通信社

本日の案件は1件で、「令和7年度9月補正予算(案)に計上された主な事業」についてです。

No.1「燃料電池自動車トラック導入促進補助」

水素を使って走る燃料電池トラックは1台当たり数千万円と非常に高額で、愛知県が自動車リース事業者に対して補助メニューを創設しました。そこで県から、市も協調補助をしましょうという呼び掛けがありましたので、一宮市も1台分の344万9,000円を予算計上しました。

No.2「高規格救急自動車などの購入」

ありがたいことに多額の寄付を頂きましたので、救急車2台と救急訓練用資機材を購入させていただくことにしました。救急車は1台約3,000万円と高額であり、納期までに期間を要するため債務負担行為で2026年度に購入し、今回の補正予算は救急訓練用資機材分になります。

No.3「一宮市民会館エレベーター安全対策工事」

一宮市民会館のホールは吊り天井になっており、大地震などが起きると危険なため改修を行っています。また建物自体も50年ほど経ちますので、天井と併せて座席も全てリニューアルすることになっています。工事により2026年の夏まで休館するので、この休館期間を活用し、老朽化したエレベーターも改修することになります。今は安全対策装置がなく、大きい地震が起きた時などにエレベーターが最寄りの階に自動的に止まりません。そのような安全対策装置を設置するとともに、ボタンを大きくするなど、車椅子の方でも利用しやすいように改修する予定です。こちらも債務負担行為で、実際の工事は2026年度の見込みです。

No.4「中学校屋内運動場への空調設備の早期設置」

今回の補正で一番大きい金額になりますが、市立中学校の全19校の屋内運動場に空調設備を設置するものです。

当初予算では、中学校19校のうち、2025年度中に北部、奥、尾西第一中学校の3校、また千秋中学校は屋内運動場の建て替えで動いており、計4校に空調設備を設置する計画でした。この4校を選定した理由は、それぞれの中学校の近くに、大規模病院があるからです。地震が起きた時などに小中学校の屋内運動場が避難所として利用されますが、病院に近いところでは避難を受け入れることと併せて、医療従事者がトリアージを行う際の医療救護所としての機能を果たすこともあることから、まずは大規模な病院に近い四

つの中学校を予定していました。ただ、生徒らの暑さ対策については市議会や市民の皆さまからのご要望も強くあり、また近年は日本の夏は猛暑が通常で、対策が「待ったなし」という状態であったことなどから、できるだけ前倒しして全中学校の屋内運動場に空調設備を設置することにしました。このため千秋中学校については建て替えをせず、古いなりに断熱工事などをして、その上で空調設備を付けるということに方針転換をさせていただきました。千秋中学校については、9月補正予算を議会で承認していただければ、11月に契約をして、2026年の春休み以降に、工事をし、夏までには空調設備が使えるだろうと見込んでいます。

残りの15校は、これから補正予算の承認後に、公告・応札・契約という手続きに入りますので、実際には年度内に設計を委託し、遅くとも2027年の夏には空調設備が使えるようになるという予定で現在考えています。

No. 5 「弁護委託料」

それぞれの事案に応じて、弁護に対する着手金、および成功報酬を計上しています。

No. 6 「財政調整基金積立金」

財政調整基金は、当初予算で47億円を取り崩し、現在およそ28億円まで減っていますので、今回8億円を積み立てることで36億円まで積み戻します。

No. 7 「給食食材等の高騰に対する支援」

国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を使った事業です。給食食材費関係は、それぞれ単価は違いますが保育園と小中学校で給食費を補助し、値上げをせずにメニューを充実させます。

No. 8 「水道・下水道事業会計へのエネルギー価格高騰支援」

No. 7 同様に、国の物価高騰対策重点支援地方創生臨時交付金を使った事業で、上下水道の関係になります。一宮市では、2024年に水道料金・下水道使用料を改定し15%程度値上げしましたが、それでも物価高騰の中で事業会計が厳しい状態です。その中でもできるだけ再度値上げをすることがないように、支援金を一般会計から繰り入れることにします。

以上、私からの説明とさせていただきます。

質疑応答

■令和7年度9月補正予算(案)に計上された主な事業

No. 4 「中学校屋内運動場への空調設備の早期設置」

(記者) 今年度はすでに3校で空調設備を導入済みですか？

(市長) 3校の設置工事は今年の12月からを予定しています。

(記者) 先行して空調設備を導入する4校に関しては、病院に近いところを選定したという話があったのですが、具体的にはどこですか？

(市長) 北部中学校のすぐ西に市民病院、近くに大雄会病院があります。奥中学校は一宮西病院の近くにあり、尾西第一中学校は泰玄会病院が、千秋中学校の近くに千秋病院があります。

(記者) 小学校については今後の導入予定はあるのでしょうか？

(市長) 現在、古くなった小中学校の建て替えを進めようとしているシン学校プロジェクトと合わせて、市として投資的経費をどのくらい使えるのかを財政当局で精査しているところです。中学校が市内 19 校あり、残りの 15 校の工事も 2026 年度に実施しますので、小学校への工事については、さらにその先の 2027 年度になることはやむを得ないと考えています。

ただ、石破総理も小中学校の体育館へのエアコン導入については、国がしっかり支援していきと言っていますので、国からの支援メニューがさらに手厚くなれば、市でも場合によっては、2026 来年度に前倒して小学校 42 校の屋内運動場の設計をしていけたらいいなと思っています。

(記者) 何年度までに設置するという目標はありますか？

(市長) まだ、しっかりとした計画をお示しできません。

(記者) なぜ、中学校への設置を優先するのですか？

(市長) 市としては各教室への空調設置時と同様に、学校の稼働率や地域の拠点性を考えて、屋内運動場についても中学校を先に考えています。

No. 5 「弁護委託料」

(記者) それぞれの案件について詳しい内容を教えていただけませんか？

(市長) 1 番目が医療提供事業交付金の給付業務についてです。コロナ対応をさせていただいたクリニックの先生方への交付金の給付業務を一宮市保健所で行っていたのですが、電子での対応を中止しておりました。このクリニックの方の主張は、申請行為のために、いちいち申請書を作って、保健所に行かなければならず、手間がかかったというものです。他では電子での対応ができていた保健所もあったのに、一宮市が電子対応できていなかったのはおかしいということで、訴えられています。

2 番目が一宮駅駐輪場で、ご利用のお客さまに対し不適切な言動をとったということで訴えられたものです。市の言い分が認められ、訴訟は決着し、成功報酬を支払います。

3 番目が保護者の方から市立学校の教職員の対応について、安全配慮義務違反および不法行為があったという訴えを起こされています。

No. 6 「財政調整基金積立金」

(記者) 財政調整基金に目標値はありますか？

(職員) 中期財政計画の一つのラインとして 70 億円です。

(記者) 例年、当初予算で取り崩して、積み立てしていますが、今年だけの話ですか？

(市長) 基金と言いながら、かなり流動性高い運用をさせていただいています。当初予算で

47 億円取り崩したことで 28 億円ほどに減りましたが、今回の補正で 8 億円積みますので、36 億円となり目標の半分ぐらいには戻します。